

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3290400294		
法人名	株式会社 建装		
事業所名	グループホーム さらさの家		
所在地	島根県出雲市東福町190-2		
自己評価作成日	平成23年7月23日	評価結果市町村受理日	平成23年10月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.katgokouinyou.jp/katgostp/informationpublic.do?JGD=3290400294&SCD=320&PCD=32
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPOLまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白濁本町43番地		
訪問調査日	平成23年8月10日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>周囲は田畑に囲まれ、のどかで静かな環境にあり過ごしやすい。敷地内には農園が隣接地域の人との交流が図りやすい。また利用者も作物を育てたり収穫する喜びが味わえる</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>職員は、利用者の生活のペースを尊重しゆったりと関わりたいとの思いを持ち、利用者が手作業や野菜作り、野菜の水遣り、花摘みなど、自分の思いで楽しみながら行えるよう柔軟な支援をしている。事業所前には地域の人に貸し出している広い農園があり、農園の利用者を行事に呼んだり、収穫した野菜をもらうなど交流を図っている。夏祭りでは職員の踊りの練習やカレー作りを地域の施設を借りて行い、小学生のボランティアなどたくさんの方が参加している。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関や事務所に理念を貼り、常に意識できるようにしている。新規採用者には、その都度説明し共有している。月1回の職員会議で唱和している	毎月行っている職員会議で読みあわせを行ったり、理念に沿って具体的な目標を作り実践に努めている。	時々目標を振り返る機会を持ち、より意識的な取り組みになることを期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区のコミセンの行事や交流館の使用、近所の理・美容院を使用するなど、できるだけ地域へ出かけるようにしている	夏祭りのチラシを配布して参加を呼びかけたり、地域の施設を使用して夏祭りの準備をするなど協力を得ている。貸し農園の利用者と交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設の敷地内にある畑に来られる方が、いつでも立ち寄りいただけるように声をかけたり、敬老会や忘年会に参加してもらった。運営推進会議で地区の認知症の勉強会に協賛する案も出ている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回開催し、職員が順番で参加している。利用者状況やサービス提供状況などを報告し、助言やアドバイスをいただき、サービス向上に活かせるようにしている	活動状況の報告を行い、避難訓練、研修など事業所の取り組みへの助言、地域の情報や行事への参加の提案など積極的な意見をもらい取り組みに活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議において、運営に関することや、ケースについて市やあんしん支援センターに相談しアドバイスをいただき、サービス向上に活かせるようにしている	運営推進会議を通しての関わりが多いが、必要時には互いに情報交換をし連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加した職員が報告し、職員全員が共有し身体拘束をしない介護に努めている。玄関の施錠はしていない	地域の研修会に参加したり認知症についての話し合いを行い、身体拘束をしないケアに努めている。玄関は施錠していないので、利用者は自由に外に出て草取りなどしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎年行われる地域の合同研修に参加するようにしている。今年度、施設内でも研修を計画し、どのような行為が虐待ととられるのかを再確認し、虐待防止に努めたい		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加した職員の報告を受けた。今後活用できるようにしたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項を時間をかけて説明し、同意を得て契約を行っている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回の家族会や運営推進会議への参加、面会時に話を聞く機会を持ち、家族からの意見も取り入れるようにしている	家族の訪問時や、年1回行事と合わせて交流会を開催し意見を聞いている。運営推進会議への家族参加が少ない。	運営推進会議に多数の家族が出席できるような工夫をし、さらに家族の意見の引き出しに努めていただきたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的な経営者との会議や、職員会議、面談を行い意見や提案を聴き、運営に反映するように努めている	会議や日々の業務の中で意見を聞き、今年度は個別面談を実施し職員の意見を聞く機会を持った。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	評価制度(人事考課制度)を適用し、年1回面談を行い評価結果を処遇に反映する。介護職員処遇交付金の申請も行い、職場環境の整備に努める		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	正規職員・非正規職員の分け隔てなく、職員の力量に合った研修の参加を勧め、自己研鑽に努めている。今年度は一人が、内外部合わせて15時間の研修に参加できるよう取り組んでいる		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡会や部会の勉強会の参加を通して情報交換を行い、サービスの質の向上に努めている。他施設実習研修を計画する予定		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所申請時に本人の置かれている状況、入所理由などを把握するようにしている。面接は必ず本人とお会いし、安心して入所していただけるような関係作りに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みの段階で、面接し家族の思いやこれまでの経緯などをゆつくり聴き、信頼関係を築くように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込みの段階で、アセスメントを通して、どのようなサービスや支援が必要かを見極め、必要なサービスにつなげるようにしている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族や本人から話しを聴くなどして個々の生活歴や性格、人生観等を知るよう努め、職員間で情報を共有している。また誇りやプライバシーを損ねないような声かけを行っている。利用者から教えていただき、共に行えるよう取り組んでいる		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月家族に手紙や写真で様子を報告をする。変わりがあればその都度電話で報告する。面会時にも様子をお伝えしたり自室で一緒に過ごしてもらうようにしている。墓参りや自宅への外出・外泊をされている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の秋祭りやとんどさんに参加したり、自宅や近所への散歩、家族の見舞い、墓参り、かかりつけの通院等を通じ交流が続けられるよう支援している	必要な物は家族に持参してもらうようにし家族との関係を大事にしている。地域の行事に参加したり、家族の協力を得て墓参りや見舞い、地域の美容院などへ行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個性が強い方が多く、人間関係が複雑であり、ますます困難になっている。気の合う人同士の席にしたり、視線に入らない席の工夫、居室前の広いスペースを利用するなどしている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在該当するケースはないが、今後あれば検討したい		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、入浴、自室の掃除時、訪室時など個別に関わる時間を持つようにし、思いを聞いたり、言葉や表情から真意を推し量っている	利用者の言動から思いを知ったり、入浴時や居室訪問時などにゆっくり関わるようにし思いを聞いている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者の生活歴やこれまでの暮らし方を「暮らしの情報シート」に書き、把握している。また家族会で、これまでの歴史を聞く機会を得た。全職員で情報の共有に取り組んでいる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の生活リズムや行動、表情、利用者同士の会話や職員との会話から現状の把握に努めている。気づいたことは連絡ノートに記入するなどして全職員に伝達している		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族には日頃の関わりの中で思いや意見を聞き、反映させるようにしている。ケース会議やケアプランの評価、朝のミーティングなどで職員の意見を聞くようにしている	認定更新時には利用者、家族と話し合いの場を持ちプランを作成している。受け持ちも作成、評価に関わり全職員で統一したケアに努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化はケース記録に記入し、職員間で情報を共有し、勤務開始前に確認することを徹底している。また個別記録をもとに介護計画の見直し、評価を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急時の受診の付添いや外出支援をしている。個々に応じた支援はまだ不十分であるため、今後取り組んでいくことが課題である		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地区のコミセンの行事の参加や交流館の使用、近所の理・美容院を使用するようにしている。運営推進会議では、駐在所や民生委員と意見交換する機会をもうけている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前からのかかりつけ医や希望の医療機関に通院や往診の依頼をしている。必要に応じて主治医に状態報告を書面で行ったり、報告や相談に出向いている	利用者、家族の希望するかかりつけ医で、利用者に合わせ通院や往診の支援をしている。医師の協力があり夜間対応も行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	専属の看護師にその都度報告したり相談している。また併設の小規模多機能ホームの看護師にも報告相談し連携している。医療ノートを作り、看護職と連携を図っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中は見舞いに行き、状態観察をしたり、家族に様子を伺うなどしている。退院前はカンファレンスに参加し、サマリーを依頼し職員間で情報を共有し、退院後の生活に備えている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に看取りを希望しているケースがあり、家族、主治医、施設で話し合いを行った。本人の状態に合わせその都度三者で相談していきたい。終末期の研修にも参加している	夜間や医療の必要な時は不安があるが、利用者、家族の希望を尊重しながら対応したいと考えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急講習は、今年度ほぼ全員の職員が受講した。利用者の緊急連絡先や主治医の連絡先を記載した一覧表を作成しすぐに対応できるように努めている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行っている。地区の消防団の協力で、10月に合同の避難訓練を行う予定	定期的に訓練を行い避難方法を検討したり、運営推進会議でも話し合い情報を得ている。大雨洪水警報が発令された時があるが、車の準備をしたり人員を配置し待機していた。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が利用者の人格を尊重出来るように取り組んでいる。ミーティングや勉強会で意識向上を図り、日々の関わりの中で対応を徹底している	利用者一人ひとりのペースでの生活を支援している。利用者の言葉にも、利用者のこれまでの人生を思い尊重した対応を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	各部屋の掃除時や入浴時、訪室時にゆっくり話を聞く機会を持つようになっている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	それぞれの体調やペースに合わせて対応している。買い物や散歩、外出、自宅への外出等希望に添うようになっている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自分で服を選んでもらうようになっている。正月には着物を着てもらい、行事に合わせおしゃれをしてもらった。散髪は馴染みの美容室や近所の理髪店を利用している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	月1回利用者と献立を考え、昼食会を行っている。おやつ作りや盛り付け、野菜切りで力を発揮してもらっている。職員も一緒に食事をし楽しい雰囲気ですぐに食事がとれるようにしている	盛り付けや食器片付けなど利用者の出来ることをしてもらっている。毎月行う食事会では、献立作成から野菜切りなど利用者も生き生きと行えるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	9時半、外出後、体操の後等、こまめに水分補給を勧めている。食べる量が少ない方には、好まれる物や、個別の料理で対応している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々にあったハブラシを使い、声かけや見守り、介助を行っている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターンを調べ、トイレでの排泄を支援している。パットの種類も個別に対応している。利用者の状態に応じて、その都度適切な支援ができるよう話し合いをしている	利用者にあうパットを検討したり、ふらつきのある人には夜間はポータブルを使用するなど、利用者の状態に合わせた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況の把握に努め、水分摂取を心がけ、体操や散歩等で便秘予防をしている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	利用者のその日の希望を確認し入って頂き気分乗らない時は翌日にするなどして対応している。精神状態が不安定で入浴できない時は、清拭や足浴等で対応している	利用者の希望を確認しながら対応している。好きだった入浴を嫌がられるようになった人がいるが、家族と話し合い支援している。	入浴を嫌がる人に対し、本人の思いを継続して探り、本人本意の支援となることを望みたい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	できるだけ日中は活動的に過ごして頂き、1日の生活リズムをつくり、夜間良眠できるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により指導を受け、理解に努めている。薬の説明書を服薬ファイルに綴っており、調べやすくしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家での役割が続けられるよう、草とりや畑、洗濯物たたみ、掃除、食品や物品の買い物など個々の好みや出来る事に応じて対応している。日常生活の中で出来る事をしてもらっている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に応じて買い物や自宅への外出、墓参りを行っている。家族の協力を得てお見舞いに行ったりもしている。今後は家族とともに出かける機会を持ちたい	買い物や野菜の水遣り、草取り、花摘みなど、利用者の思いで戸外に出かけられるよう支援している。理・美容院など家族の協力を得て出かけている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々の能力に応じて、少額から自己管理できる金額を管理し、外出時に使えるように支援している。家族からの預かり金の方も、買物の支払いを本人にってもらう機会を持つようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があればその都度電話をかけたりして対応している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所から調理の音やにおいが感じられるようにしている。壁飾りや季節の花、ホールや居室から見えるように花を植えたり、畑の野菜を収穫する事で、季節感を取り入れるようにしている	花や観葉植物、みんなで作ったちぎり絵、書などを飾り、ゆったりと過ごせる空間作りをしている。テーブルや椅子を設置し、好きな所で過ごせるように工夫している。	浴室の手すりや洗面台は、利用者の機能に合わせて改善されることが望まれる。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールに畳を敷き、冬場はこたつを設置した。また居室前の広場をくつろぎのスペースとし、レクや面会場所、お茶に使っている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の状態に合わせて、好みや馴染みの物を用い過してもらっている。壁には写真や手作りの作品を掲示している。転倒予防にマットや畳を利用している	持ち物は全て家から持ち込んでもらい、利用者や家族の思いで居室作りをしている。手作業の作品や写真、人形など飾られている。利用者に合わせ安全に過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	浴室にはのれんをつけた。トイレの取っ手に色をつけたり、電気のスイッチに表示して分かりやすくして自立を図れるようにした		